

平成16年度美術館ボランティア

静岡県立美術館ボランティアは、開館前年の1985年から募集と研修を開始し、86年4月の開館と同時に、350人の体制で活動を始めた。以来、日本の公立美術館としては最大規模のボランティアとして、美術館と観覧者との架け橋となるべく活動を続けている。

■活動人数の推移

昭和61年度－350名
 昭和62年度－307名
 昭和63年度－260名
 平成元年度－317名(新規参加者90名)
 平成2年度－263名
 平成3年度－240名
 平成4年度－223名
 平成5年度－347名(新規参加者140名)
 平成6年度－331名
 平成7年度－299名
 平成8年度－282名
 平成9年度－273名
 平成10年度－354名(新規参加者94名)
 平成11年度－316名
 平成12年度－297名
 平成13年度－265名
 平成14年度－331名(10月より新規参加者95名)
 平成15年度－328名
 平成16年度－303名

■基本の活動と内容・役割

全体を24班に分け、月1回を基本活動日として活動している。

内容は、来館者と直に接する「来館者対応」と、縁の下の力持ちとして来館者からは見えないところで美術館の業務を様々な面から助ける「内部の活動」の2種がある。この2つが基本活動となり、更に希望する有志によるグループ活動がある。

この他に、収蔵品展や企画展の鑑賞研修も大切な活動である。収蔵品展はいつでも鑑賞することができ、美術館の所蔵作品について造詣を深めることに各人が努めている。企画展についても積極的に鑑賞研修を進めるため、活動日以外にも1企画展について1回の鑑賞を認めている。各展覧会ではボランティアのみを対象とした「ボランティア内覧会」も開催され、担当学芸員による解説と鑑賞が行われるので、いち早く展覧会の内容把握に努め、その魅力を広く館外へ広めるといふ対外的な活動に役立っている。

【基本活動】班編制により月1回の活動日に全てのボランティアが行う活動。

来館者対応：

- (1) インフォメーションカウンターでの案内
- (2) 図書閲覧室の運営・公開端末利用の受付
- (3) 来館者の鑑賞補助など
- (4) 団体観覧者に対する資料配布など

内部の活動：

- (1) 他館の展覧会ポスターの館内での掲示、管理
- (2) 新聞記事の切り抜きや整理など、美術館活動の基本資料の整備
- (3) 各種講座や研修の受講及び自己研修
- (4) 館外での当館開催展や諸活動の広報
- (5) その他、美術館の要請に応じて美術館活動を助けること

【グループ活動】有志による活動。美術館の要望などにより呼びかけて行われる。

- (1) ギャラリー・トーク(展示室での来館者への作品解説・毎月第2第4土曜日他)
- (2) グループD(新聞・文献資料の詳細な分類整理)
- (3) 桐の会(蔵書資料などのパソコン入力チーム)

* グループ活動のみの参加は不可。基本活動に参加した上で、希望の方がグループ活動を行う。

* この他、ボランティア研修旅行の企画実行を担当する【研修旅行委員】(指定活動曜日のボランティアから選出)、「タッチ・ツアー(彫刻を触って鑑賞するプログラム)」実施の中心となる【タッチ・ツアー・ガイド】、実技室での教育普及イベントを補助する【実技室ボランティア】があり、ボランティア相互の連絡調整につとめる【班長会】(各班長・副班長で構成)とともに、ボランティア活動の充実に努めている。今年度の班長会は、よりよい美術館ボランティアのあり方について討議し、次年度以降の方針としてグループ活動の活性化をはかることとした。

■年間活動記録

4月 1日 303名で活動開始
 6月22日 研修旅行委員会第1回(以後、旅行当日までに全5回開催)
 6月12日 第1回班長会
 8月29日 第2回班長会
 11月28日、30日 研修旅行
 横浜美術館「失楽園：風景表現の近代1870－1945」、鎌倉県立近代美術館 葉山「世界の美術館 未来への架け橋」

25のミュージアム建築」

計125名参加、随員：川谷承子、森充代
(当館学芸員)

2月26日 第3回班長会

3月22日 総会

- ・平成16年度の活動報告
- ・連絡事項
新聞切り抜き作業の変更点
ギャラリートークの活動について など
- ・平成17年度からのボランティア活動について(グループ活動の活性化)
- ・班別ミーティング

■広報サポーター

平成13年度に発足した広報サポーターは、「美術館と展覧会の広報」の分野を担う、美術館に通って来ないボランティア活動として定着を見せており、平成16年度末には156名の登録人数となっている。

広報サポーターとは、美術館の展覧会や活動にご理解いただいている方々に、当館スタッフの一員として広報をサポートしていただくもので、美術館から随時お送りする展覧会ポスター・チラシおよび当館のイベント情報等を利用し、それぞれの地域社会や職場・学校などに広く美術館の情報を広めていただくことを目的としている。

広報サポーターは、当館ボランティア向けにおこなっている展覧会内覧会に参加できることとしている。広報活動のため、いち早く展覧会内容を知っていただくためである。また、実際の活動状況を把握するため、年に一度広報サポーターには「活動アンケート」を義務付けている。

1) 「広報サポーター」に登録すると

- ・展覧会ポスターやチラシ、イベント情報が随時送られてくる
- ・展覧会のボランティア・プレビューに参加できる
- ・広報サポーター証の発行を受ける

2) 「広報サポーター」の義務

- ・展覧会やイベントの情報を地域や職場に広める
- ・効果的なポスター掲示場所等の情報を美術館に寄せる
- ・年に一度、活動内容をアンケートの形で報告する